

事務事業評価シート(平成23年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名	
21221	通常保育事務	教育委員会	こども係	向山 光	新村 和幸	
		一次評価年月日	平成 24 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	2504	
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		予算コード	事業名(歳出予算見積書)	
		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		0371	保育園運営事務	
	第五次総合計画前期基本計画の施策 体系における位置づけ	章	(コード選択)	2章	支え合いやすらぎのまちづくり	
		節	(コード選択)	1節	地域で支える思いやりのある福祉の充実	
		項[基本施策]	(コード選択)	2項	子育て支援の推進	
		目[主な施策]	(コード選択)	2目	保育サービスの充実	
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱		<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始)	年度 ~ (終了予定)	年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input type="checkbox"/> 終期設定なし	

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

保育園の入園及び退園を希望する園児と保護者、在園園児と保護者

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういった状態にしたいのですか。

保育に欠ける要件を適正に審査し、保護者の希望に添った入退園ができるようにする。園児が安全で安心な園生活が送れ、保護者が安心して子育てができるようにする。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 1 入園基準(保育に欠ける要件)を厳正に審査し、保護者の希望に添った(優先順位による)入退園の事務処理を行う。
- 2 平日午前8時から午後4時までの通常保育を行う。
- 3 園児の健康状態について保護者と連携をとりながら常に把握し、保育中の園児の安全を確保する。
- 4 保護者の子育てについての不安や悩みの解消を図る。

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)
①	指標名	年間入園希望者数	547	571	585	0.98	585
	説明	入園を希望する人数	目標値設定の根拠 0歳児から5歳児の数はほぼ横這い				
②	指標名	年間保育日数	242	244	242	1.01	242
	説明	年間で保育を実施している日数	目標値設定の根拠 保育可能な日数				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)
①	指標名	入園率	100	100	100	1.00	100
	説明	入園児童数/入園希望者数	目標値設定の根拠 入園希望者が入園できる比率				
②	指標名				#DIV/0!		0
	説明		目標値設定の根拠				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+② (千円)	平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 見込み					
		468,761	396,523	399,462				
対前年比		84.6	100.7					
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)	152,544	124,659	118,411					
B)一般財源(税金)	316,217	271,864	281,051					
①事業費 (千円)	93,642	58,020	59,778					
対前年比		62	103					
②人件費の概算 (千円)	375,119	338,503	339,684					
対前年比		90.2	100.3					
	課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費
	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24			
町職員(正規職員)	0.00 0.00 0.00	5.95 5.95 5.95	9.00 9.00 9.00	25.00 25.00 25.00	39.95 39.95 39.95	288,800	273,957	267,187
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート					86,319	64,546	72,497

指標化



(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	B	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある 特別保育事業(乳児保育、一時的保育、長時間保育) C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している 保育士が日常業務の中で把握している。 C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

保育に対する多様化するニーズに可能な限り対応し、園児の健全な育成に努めました。乳児保育の受け入れ等を可能にする新町保育園の建設を行いました。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

子育て環境、保育サービス等の充実、子育て世帯の経済的支援、子育て支援制度の周知徹底を図ります。

24年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

保育園保育料

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

家庭環境の実情把握に努め、引き続き入所要件の審査を適正に行う。保護者の希望を反映しつつ、定員の適正管理と保育士の配置に配慮し、安全な保育を確実に進めていく。

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止



上記 a~e を選択